（様式１）

**日本医療研究開発機構　革新的先端研究開発支援事業インキュベートタイプ（LEAP）**

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発課題名（英語表記） | *〇〇に関する研究開発**Study of ○○* |
| 公募名（事業名） |  |
| 研究開発期間 | 令和　2年10月　1日　　～　　令和　7年　3月31日（*4.5*年間） |
|  |  |
|  |  |
| 細目表キーワード | *○△□、○□△（※e-Radの研究分野（主）の「キーワード」を記入）* |
| 研究開発代表者氏名 | （フリガナ） | *〇〇〇〇　〇〇〇* |
| （漢字等） | *〇△　〇□*　　　　　*Mr. Yyyy Yyyyyy* |
| 所属研究機関 | *○○○○大学* |
| 住所 | 〒*XXX-XXXX* |
| 電話番号 | *XX-XXXX-XXXX* | ＦＡＸ | *XX-XXXX-XXXX* |
| E-mail | *YYY@YY.jp* |
| 部局 | *△△△学部△△△学科* |
| 職名 | *△△△* |
| 経理事務担当者氏名 | *□□　□□* | 経理担当部局名・連絡先等 | *○○○○*大学*管理部○○課*電話番号： 　　FAX番号：E-mailアドレス： |
| 研究開発分担者氏名※ | （フリガナ） | *〇〇〇〇　〇〇〇　※全ての分担者について記載* |
| （漢字等） | *□□　○○*　　　　 *Ms. Zzzz Zzzzz* |
| 所属研究機関 | *△□大学* |
| 住所 | 〒*XXX-XXXX* |
| 電話番号 | *XX-XXXX-XXXX* | ＦＡＸ | *XX-XXXX-XXXX* |
| E-mail | *YYY@YY.jp* |
| 部局 | *△△△学部△△△学科* |
| 職名 | *△△△* |
| 経理事務担当者氏名 | *○△　○△* | 経理担当部局名・連絡先等 | *△□大学管理部○○課*電話番号： 　　FAX番号：E-mailアドレス： |

 **研究開発提案書**

※　研究開発分担者等は全ての分担者について記載してください。また、人数に応じて適宜記入欄を追加してください。

※　記入例と説明文（青字＆斜体の全ての箇所）を削除して提出して下さい。

各年度別経費内訳　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |  |  |
| 2.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |  |  |  |
| 3.人件費　・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |
| 小　計 |  |  |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%目安） |  |  |  |  |  |  |
| 合　計 |  |  |  |  |  |  |

※別紙３に研究開発経費の詳細を記載する欄があります。

１－１．基本情報

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発課題名 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 研究開発代表者 | プログラムマネージャー（PM） |
| フリガナ |  |  |
| 氏名 |  |  |
| 所属機関・部署・役職 |  |  |
| 研究開発期間 | 令和　2年10月　1日～　令和　7年　3月31日（4年6ヶ月） |
| 研究開発費総額 | 研究開発費（間接経費込み）総額　　 百万円　（小数点以下は記入しないでください） |

|  |  |
| --- | --- |
| 事前登録時の仮課題名 |  |

・**研究開発期間**

研究開発期間は令和2年度の研究開始から5年以内です。

１－２．研究開発代表者およびプログラムマネージャーの経歴

1. 研究開発代表者データ

|  |  |
| --- | --- |
| フリガナ |  |
| 氏名 |  |
| 所属機関・部署・役職 |  |
| 学歴（大学卒業以降） | （記入例）昭和◯◯年 ◯◯大学◯◯学部卒業昭和◯◯年 ◯◯大学大学院◯◯研究科修士課程○○専攻修了昭和◯◯年 ◯◯大学大学院◯◯研究科博士課程○○専攻修了昭和◯◯年　博士（◯◯学）（◯◯大学）　取得 |
| 研究歴（主な職歴と研究内容） | （記入例）昭和◯◯年～◯◯年　◯◯大学◯◯学部助手 　　◯◯◯◯◯について研究昭和◯◯年～◯◯年　◯◯研究所　研究員◯◯◯◯◯◯◯◯◯に関する研究に従事平成◯◯年～　　 ◯◯大学◯◯学部教授（現職）◯◯◯について研究 |
| 研究者番号 | （8桁の番号） |
| 生年月日 | 19 年　　　月　　　日 |

1. プログラムマネージャー

|  |  |
| --- | --- |
| フリガナ |  |
| 氏名 |  |
| 所属機関・部署・役職 |  |
| 生年月日 | 19 年　　　月　　　日 |
| 兼務状況 | （記入例）・◯◯株式会社　アドバイザー・◯◯大学　客員教授 |
| 学歴（大学卒業以降） | （記入例）昭和◯◯年 ◯◯大学◯◯学部卒業昭和◯◯年 ◯◯大学大学院◯◯研究科修士課程◯◯専攻修了昭和◯◯年 ◯◯大学大学院◯◯研究科博士課程◯◯専攻修了昭和◯◯年　博士（◯◯学）（◯◯大学）　取得 |
| 職歴（主な職歴と職務内容） | （記入例）昭和◯◯年～◯◯年　◯◯株式会社 　　◯◯◯◯◯に従事昭和◯◯年～◯◯年　◯◯研究所　研究員◯◯◯について研究平成◯◯年～　　 ◯◯株式会社　アドバイザー（現職）平成○○年～ ◯◯大学◯◯学部 客員教授（現職） |

２．研究開発構想

* 評価者が理解しやすいように記述してください。そのため、必要に応じて図や表も用いてください。
* 本項目は、A4用紙４枚程度を目安としますが、必要十分な記述が重要ですので、分量は定めません。
* 別紙6，7，8の論文・著書リスト、特許リストの記載内容を適切に引用することにより、研究開発代表者の業績との関連が明確となるようにしてください。
* 記入のための説明文は削除してご提出ください。

２－１．具体的内容と特徴

* 本研究開発提案の基礎となる研究成果の具体的な内容とその特徴について、業績リスト（別紙6，7，8）の記載内容を適切に引用して、記述してください。

２－２．有力な類似研究との比較と本研究の位置づけ

* 下記表には、他の有力な類似の最先端研究について記載してください。本表には「最先端研究」を記載し、既存技術との比較については、４－２．にて記述してください。
* 表に記載した研究に対する研究開発代表者の研究の位置づけ（類似点、相違点、優位性、競合する点など）を、表の下に記述してください。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 研究の概要 |
| 1. A大学・a教授
 |  |
| 1. B大学・b准教授グループ
 |  |
| 1. C研究所・c研究員
 |  |
| 1. D株式会社
 |  |
| 1. E大学・e教授
 |  |
| 1. F大学・f教授
 |  |
| 1. G社（米国）
 |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

２－３．医療応用に向けた検討状況（令和2年4月現在）

* in vitroやin vivo、臨床研究者との研究開発状況を記載ください。

３．医療応用の実現に向けたイノベーション創出の可能性・ビジョン・シナリオ

（研究期間を越えたものとしてとらえてください。）

３－１．医療応用の実現に向けたイノベーション創出の可能性・ビジョン・シナリオ

* 研究成果から、医療応用へ向けたイノベーションの可能性、イノベーション創出へのビジョン・シナリオ、社会還元への具体的な展開（企業等参画の可能性）について記載してください。

３－２．PMによるビジョン、シナリオ達成に向けての構想

* ３－１．で記載したビジョン、シナリオを達成するためにＰＭとしてどのような活動をして、このLEAP課題の価値について、どう高めていきたいかについて、構想を記載してください。

４．具体的な医療応用のイメージについて

４－１．医療応用イメージ（医薬品、医療機器、医療技術等）

* 医療応用における具体的な用途について、その社会的ニーズを含めて、記述してください。医薬品、医療機器、医療技術等、医療応用のカテゴリーについても、記載ください。
* 具体的用途が多数ある場合など、具体的用途を絞り込む場合は、その具体的用途とそれを選ぶ理由を記述してください。

４－２．他技術、優位性と課題

（１）他技術

* 既存技術または開発中の技術で、用途が同じものをピックアップしてください。
* ２－２．は研究成果における比較であるのに対し、ここは医療応用における比較を記してください。

（２）他技術に対する優位性

* （１）の技術のうち、有力な技術（開発中も含む）に対する優位性を記述してください。
* さらに、優位性の程度を記述してください。（例えば「次世代技術でも既存技術から置き換えたくなるほどの優位性が存在するか」、「ライバル技術の方が実用化に近くても、それを凌駕する優位性が存在するか」等）

５．研究開発・事業化構想計画

５－１．研究開発・事業化構想の全体計画、具体的内容、主なスケジュール

（１）全体計画と具体的な研究開発項目の内容

* 全体計画と具体的な開発項目の内容について、「５－２．技術的成立性の証明・提示（５年実施したときのゴール）について」に記載した内容と合わせながら、記載してください。また、下記の（２）主なスケジュールに各研究開発項目に対する取り組み時期を記載してください。
* 研究開発3年度目までの達成目標を明確に提示してください（中間評価等での評価における判断材料の一つとなります）。
* 必要に応じ、図表を挿入するなどして、分かりやすく記載してください。

（２）研究開発の主なスケジュール

* 目標達成に向けて取り組むべき研究開発項目を挙げ、実施期間を記載してください。

※マイルストーン：達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項

* 項目別のスケジュールや担当者が分かるように記載してください。

**※できる限り1頁以内で記載してください。**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究開発項目※マイルストーン | 担当者氏名 | 第1年度(令和2年度) | 第2年度(令和3年度) | 第3年度(令和4年度) | 第4年度(令和5年度) | 第5年度(令和6年度) |
| 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 |
| （1) 〇〇関連遺伝子発現解析・アッセイ系の確立・発現データ解析 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （2)  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （3） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （4） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （5） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （6） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （7） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

５－２．技術的成立性の証明（５年実施したときのゴール）について

（１）技術的成立性の証明・提示およびマイルストーン

* LEAP終了時点で、企業や投資家等から次の段階に進めるためのACTIONを引き出す観点で、LEAPで何を目指すのか、具体的なゴールとして技術的成立性の証明・提示についてどう設定するのかを、PM候補の方と相談の上、記述ください。
* 技術的成立性の証明・提示は必要最小限に絞ってご記入ください。
* マイルストーンは技術的成立性の証明・提示をめざす中で重要な判断材料となる内容としてください。中間評価の際は重要な評価指標となります。また、技術的成立性の証明・提示に対し、マイルストーンが複数ある場合には、すべてご記入ください。

*（記入例）*

*技術的成立性の証明・提示：○○○○○の実現*

*（技術的成立性の証明・提示に関する簡単な説明）○○○を×××する。*

*マイルストーン1：△△△の開発と評価（数値目標：▲▲▲）*

*マイルストーン2：□□□の有効性検証*

（２）技術的成立性の証明・提示に向けての課題

（３）技術的成立性の証明・提示に向けての課題（５－２（２））に対する解決策

５－３．PMの活動項目および概要（計画とスケジュール）

* 企業導出に向けて、技術的成立性の証明・提示を実現するためのPMの活動計画について記載して下さい。５－１．（１）（２）の研究開発項目と関連付けて簡潔に記載してください。
* 必要に応じPMの活動に必要な体制構築について記載してください。
* PMとしての各技術的成立性の証明・提示の実現に向けた取組が明確となるよう５－２．（１）（２）（３）に対応させてください。複数の技術的成立性の証明・提示がある場合は技術的成立性の証明・提示ごとに作成してください。特に下記の点にご留意ください。

１）技術的成立性の証明・提示達成に必要な研究開発体制の整備（研究員確保や企業の参画等）計画。

２）技術的成立性の証明・提示達成に至るマイルストーンを定め、達成できない場合の対策や代替案の計画。

３）研究開発チームが主体で実施する内容を青色で、企業その他外部との対応など主としてPMが実施する内容をオレンジ色で識別（図の形状についてはご自由に設定してください）。

※　他のアプリケーションで作成いただいた図表を貼付いただいても構いません。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 技術的成立性の証明・提示 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
| 技術的成立性の証明・提示： | ・・・企業との共同研究共同研究に関する企業との交渉・・・研究実施と確認対策・代替案の検討 |

５－４．知的財産権取得ロードマップ

（１）知的財産権取得ロードマップ

* 下記の例を参考に、これまで出願した本技術に関連する特許および今後必要となる特許をわかりやすく整理してください。
* 記載した既出願特許は別紙８にも記載してください。
* 今後の特許戦略や特許ロードマップの考え方も合わせて示してください。

※　他のアプリケーションで作成いただいた図表を貼付いただいても構いません。

【記載例】



（２）他特許との比較

* 今回の課題の申請に関して、提案書にある（「２－２．有力な類似研究との比較と本研究の位置づけ」、「４－２．他技術、優位性と課題」や、「５－４．（１） 知的財産権取得ロードマップ」）に用いた先行特許について、最大3件まで記載してください。また、競合する技術に加えて、産業化や社会実装を考えた際に障壁となるような特許があれば、あわせてお書きください。なお、研究開発代表者やPMが発明者となっていないものについては、権利化の状況や、実施・実施許諾の状況は空欄で構いません。

|  |
| --- |
| 先行特許 |
| 項番 | 発明の名称 | 出願番号・特許番号 | 発明者 | 出願人 | 権利化の状況 | 実施･実施許諾の状況 |
| 1 |  |  |  |  |  |  |
| * 優位性、本プロジェクトの技術の強化方針
 |
| 2 |  |  |  |  |  |  |
| ・優位性、本プロジェクトの技術の強化方針 |
| 3 |  |  |  |  |  |  |
| ・優位性、本プロジェクトの技術の強化方針 |

６．研究費の応募・受入等の状況・エフォート（他制度の助成状況）

本提案における研究開発代表者、研究開発分担者の応募時点における、（１）応募中の研究費、（２）受入予定の研究費、（３）その他の活動について、次の点に留意し記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記載してください。

○「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を１００％とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（％）を記入してください。

○「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記載してください。

※行数を増やしていただいて構いませんが、各研究者１人につき、できるだけ１ページにまとめるようにしてください。

**研究開発代表者：○〇　△△**

**（１）応募中の研究費**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究課題名（研究代表者氏名）申請者本人への配分予定額（直接経費） | 役割(代表・分担の別) | 令和2年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額] (千円) | エフォート(%)研究開発課題全体（直接経費）の総額例）（6,000＋1,000（分担者））×3年 | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 |
| *【本応募研究課題】**（R2～R4）*研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額（直接経費）（予定額）例）6,000×3年 | *○○と△△の相関に関する実験的研究**（○○○○）* | *代表* | *6,000**[18,000]* | *30* | *（総額21,000千円）\** |
| *科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究（R2～R3・日本学術振興会）* | *○○と△△の□□への依存性に関する調査研究（○○○○）* | *代表* | *3,000**[9,000]* | *20* | *研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。**（総額　9,000千円）\** |
| *令和2年度○○財団研究助成金（R2・○○財団）* | *××と□□の研究**（○○○○）* | *分担*上欄と同様に研究代表者の場合、総額を記載 | *1,000**[1,000]* | *10* | *本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。* |

既に採択済みで研究費を受け入れている又は受け入れる予定となっているもの。適宜読み替え可能。

**（２）受入（予定）の研究費**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究課題名（研究代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 令和2年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額](千円) | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 |
| *令和元年度○○財団研究助成金（R1・○○財団* | *××と□□の研究**（○○○○）* | *代表* | *1,000**[1,000]* | *10* | *本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。**（総額　5,000千円）\** |
| *○○事業（R1～R3・AMED）* | *××と□□の研究**（○○○○）* | *分担* | *1,000**[5,000]* | *10* | *本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。* |

　\*（　）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

**（３）その他の活動　　　エフォート：　*２０*　％**

**研究開発分担者（１）：○〇　△△**

**（１）応募中の研究費**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究課題名（研究代表者氏名）申請者本人への配分予定額（直接経費） | 役割(代表・分担の別) | 令和2年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額] (千円) | エフォート(%)研究開発課題全体（直接経費）の総額例）（6,000＋1,000（分担者））×3年 | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 |
| *【本応募研究課題】**（R2～R4）*研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額（直接経費）（予定額）例）6,000×3年 | *○○と△△の相関に関する実験的研究**（○○○○）* | *代表* | *6,000**[18,000]* | *30* | *（総額21,000千円）\** |
| *科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究（R2～R3・日本学術振興会）* | *○○と△△の□□への依存性に関する調査研究（○○○○）* | *代表* | *3,000**[9,000]* | *20* | *研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。**（総額　9,000千円）\** |
| *令和2年度○○財団研究助成金（R2・○○財団）* | *××と□□の研究**（○○○○）* | *分担*上欄と同様に研究代表者の場合、総額を記載 | *1,000**[1,000]* | *10* | *本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。* |

既に採択済みで研究費を受け入れている又は受け入れる予定となっているもの。適宜読み替え可能。

**（２）受入（予定）の研究費**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究課題名（研究代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 令和2年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額](千円) | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 |
| *令和元年度○○財団研究助成金（R1・○○財団* | *××と□□の研究**（○○○○）* | *代表* | *1,000**[1,000]* | *10* | *本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。**（総額　5,000千円）\** |
| *○○事業（R1～R3・AMED）* | *××と□□の研究**（○○○○）* | *分担* | *1,000**[5,000]* | *10* | *本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。* |

　\*（　）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

**（３）その他の活動　　　エフォート：　*２０*　％**

**研究開発分担者（２）：○〇　△△**

**（１）応募中の研究費**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究課題名（研究代表者氏名）申請者本人への配分予定額（直接経費） | 役割(代表・分担の別) | 令和2年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額] (千円) | エフォート(%)研究開発課題全体（直接経費）の総額例）（6,000＋1,000（分担者））×3年 | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 |
| *【本応募研究課題】**（R2～R4）*研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額（直接経費）（予定額）例）6,000×3年 | *○○と△△の相関に関する実験的研究**（○○○○）* | *代表* | *6,000**[18,000]* | *30* | *（総額21,000千円）\** |
| *科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究（R2～R3・日本学術振興会）* | *○○と△△の□□への依存性に関する調査研究（○○○○）* | *代表* | *3,000**[9,000]* | *20* | *研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。**（総額　9,000千円）\** |
| *令和2年度○○財団研究助成金（R2・○○財団）* | *××と□□の研究**（○○○○）* | *分担*上欄と同様に研究代表者の場合、総額を記載 | *1,000**[1,000]* | *10* | *本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。* |

既に採択済みで研究費を受け入れている又は受け入れる予定となっているもの。適宜読み替え可能。

**（２）受入（予定）の研究費**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究課題名（研究代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 令和2年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額](千円) | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 |
| *令和元年度○○財団研究助成金（R1・○○財団* | *××と□□の研究**（○○○○）* | *代表* | *1,000**[1,000]* | *10* | *本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。**（総額　5,000千円）\** |
| *○○事業（R1～R3・AMED）* | *××と□□の研究**（○○○○）* | *分担* | *1,000**[5,000]* | *10* | *本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。* |

　\*（　）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

**（３）その他の活動　　　エフォート：　*２０*　％**

７．これまでに受けた研究費とその成果等

|  |
| --- |
| 本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者がこれまでに受けた研究費（所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、AMEDによる資金制度とそれ以外の研究費に分けて、次の点に留意し記載してください。* それぞれの研究費毎に、資金制度名、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入の上、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果を簡潔に記載してください。
* AMEDによる資金制度とそれ以外の研究費は区別して記載してください。
 |

**研究開発代表者：*○○　○○***

【AMEDによる資金制度】

*（１）AMED　○○事業、H21～H23、「○○に関する研究」、代表者、４０，０００千円*

*××××の成果を得た。*

*（２）AMED　○○事業、H21～H23、「○○に関する研究」、代表者、４０，０００千円*

*××××の成果を得た。*

【それ以外の研究費】

*（３）基盤研究（B）、H21～H23、「○○に関する研究」、代表者、４０，０００千円*

*××××の成果を得た。*

**研究開発分担者（１）：*○△　○△***

【AMEDによる資金制度】

*（１）AMED　○○事業、H21～H23、「○○に関する研究」、代表者、４０，０００千円*

*××××の成果を得た。*

*（２）AMED　○○事業、H21～H23、「○○に関する研究」、代表者、４０，０００千円*

*××××の成果を得た。*

【それ以外の研究費】

*（３）基盤研究（B）、H21～H23、「○○に関する研究」、代表者、４０，０００千円*

*××××の成果を得た。*

**研究開発分担者（２）：*○△　○△***

【AMEDによる資金制度】

*（１）AMED　○○事業、H21～H23、「○○に関する研究」、代表者、４０，０００千円*

*××××の成果を得た。*

*（２）AMED　○○事業、H21～H23、「○○に関する研究」、代表者、４０，０００千円*

*××××の成果を得た。*

【それ以外の研究費】

*（３）基盤研究（B）、H21～H23、「○○に関する研究」、代表者、４０，０００千円*

*××××の成果を得た。*

 (別紙１)

実施体制図

研究開発実施体制と実施項目

* 下記要領を参考に、連携体制図を作成下さい。
* 研究開発分担者がいない場合は、本様式への記載・提出は不要です。
* 研究開発体制、契約締結状況を記載してください。記載方法は下記のとおりです。

① 長方形 ：研究開発代表者グループ

② 角丸四角形 ：研究開発分担者グループ（大学等）

③ 楕　円 ：研究開発分担者グループ（企業）

④ 二重矢印線 ：試料、情報等のやりとり、分担（内容を記載）

* 1ページ以内で記載する。
* 他のアプリケーションで作成いただいた図表を貼付いただいても構いません。

|  |
| --- |
| 【記載例】研究開発代表者所属　氏名課題「xxxxxxx」研究開発分担者所属　氏名課題「xxxxxxx」研究開発分担者所属　氏名課題「xxxxxxx」○○解析○○のデータ提供○○の試料の提供加工○○の試料の提供加工○○のデータ提供○○機器の開発 |

(別紙２)

研究開発実施体制（研究開発代表者グループ）

* 研究開発代表者が所属する研究機関における研究開発参加者を記入してください。
* 研究開発代表者と同じ所属機関の研究開発参加者が、研究開発代表者の研究開発実施項目および概要とは明確に異なる内容で参加する場合は、研究開発分担者グループとして記入していただいても結構です。

（記入例）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **研究開発****代表者氏名** | **研究機関名** | **役職** | **本研究開発提案において担当する内容** | **エフォート****（％）** |
| ○○　○○ | ○○大学　大学院○○研究科  | 教授 |  | 40 |
| **研究開発****参加者等氏名** | **所属**(上記と同じ場合には省略) | **役職** | **本研究開発提案において担当する内容** | **エフォート****（％）** |
| ○○　○○ |  | 准教授 |  | 5 |
| ○○　○○ |  | 講師 |  | 15 |
| ××　×× | ××株式会社××研究所 | 主席研究員 |  | 20 |

* エフォートには、研究者の年間の全仕事時間（研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む）を100％とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率（％）を記入して下さい。【総合科学技術会議における定義による】
* 研究開発チームの構成メンバーについては、その果たす役割等について十分ご検討下さい。
* 研究開発参加者のうち、提案時に氏名が確定していない研究員等の場合は、「研究員　○名」といった記述でも結構です。
* 研究開発参加者の行は、必要に応じて追加してください。

○研究開発課題の提案に対する所属機関の承認　　　□済み

* 提案要領「IV. ２．（３）提案書類作成上の注意」に従って、提案に対する所属する機関の承認を確認し、「□」を「☑」と記載してください。

○ 知的財産権の帰属 □　　希望する

* 公募要領「VII.研究開発成果の取扱い」を参照のうえ、本研究開発の結果生じた知的財産権を、産業技術力強化法第１９条第１項各号に規定する４項目を「国」をAMEDに読み替えて遵守すること、本研究開発結果に係る発明等を行ったときはAMED指定の様式に則った書面にて遅滞なくAMEDに報告すること及びAMEDが実施する知的財産権に関する調査に回答することを約することを条件として、全て本研究開発の受託者である自らに帰属させることを希望する場合は「□」を「■」と記載する。なお、希望しない場合には、その理由を記述すること。
* 研究開発代表機関から再委託する分担機関において生じた知的財産権の帰属については、再委託契約締結時に当事者間で決定すること。

○特記事項

* 特別の任務等（研究科長等の管理職、学会長など）に仕事時間（エフォート）を要する場合には、その事情・理由を記入してください。

○研究開発実施項目、および概要

・研究開発実施項目

・研究開発概要

* 研究開発代表者グループが担当する研究開発の概要を簡潔に記載してください。

・研究開発構想における位置づけ

* 研究開発構想を実現するために研究開発代表者グループが果たす役割等を記載して下さい。

研究開発実施体制（研究開発分担者グループ）

* 研究開発代表者の所属機関以外の研究機関（分担機関）の研究者が加わる場合、その研究開発参加者を分担機関ごとに記入してください。
* 研究開発分担者グループの数に上限はありませんが、本研究開発構想の遂行に最適で必要十分なチームを編成してください。また、産官学から様々な研究機関を分担機関とすることが可能です。
* **研究開発分担者を加えることは、必須ではありません。**

研究開発分担者グループ（１）

（記入例）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **研究開発****分担者氏名** | **研究機関名** | **役職** | **本研究開発提案において担当する内容** | **エフォート****（％）** |
| ○○　○○(研究者番号) | ○○研究所○○研究ユニット(研究機関コード：12345678) | ユニット長 |  | 10 |
| **研究開発****参加者等氏名** | **所属**(上記と同じ場合には省略) | **役職** | **本研究開発提案において担当する内容** | **エフォート****（％）** |
| ○○　○○ |  | 主席研究員 |  | 5 |
| ○○　○○ |  | 研究員 |  | 15 |
| 2名雇用予定 |  | 特別研究員 |  | 100 |

○研究開発課題の提案に対する分担機関の同意　　　□同意

* 研究開発代表機関から再委託する分担機関の同意を確認し、「□」を「■」と記載すること。
* 研究開発代表機関から再委託する分担機関において生じた知的財産権の帰属については、再委託契約締結時に当事者間で決定すること。

○研究開発実施項目、および概要

・研究開発実施項目

・研究開発概要

* 本研究開発分担者グループが担当する**研究開発概要**を簡潔に記載してください。

・研究開発構想における位置づけ・必要性

* 研究開発代表者の研究開発構想を実現するために本研究開発分担者グループが必要不可欠であることの理由、位置づけ等を記載して下さい。

研究開発分担者グループ（２）

（記入例）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **研究開発****分担者氏名** | **研究機関名** | **役職** | **本研究開発提案において担当する内容** | **エフォート****（％）** |
| ○○　○○(研究者番号) | ○○研究所○○研究ユニット(研究機関コード：12345678) | ユニット長 |  | 10 |
| **研究開発****参加者等氏名** | **所属**(上記と同じ場合には省略) | **役職** | **本研究開発提案において担当する内容** | **エフォート****（％）** |
| ○○　○○ |  | 主席研究員 |  | 5 |
| ○○　○○ |  | 研究員 |  | 15 |
| 2名雇用予定 |  | 特別研究員 |  | 100 |

○研究開発課題の提案に対する分担機関の同意　　　□同意

* 研究開発代表機関から再委託する分担機関の同意を確認し、「□」を「■」と記載すること。
* 研究開発代表機関から再委託する分担機関において生じた知的財産権の帰属については、再委託契約締結時に当事者間で決定すること。

○研究開発実施項目、および概要

・研究開発実施項目

・研究開発概要

* 本研究開発分担者グループが担当する**研究開発概要**を簡潔に記載してください。

・研究開発構想における位置づけ・必要性

* 研究開発代表者の研究開発構想を実現するために本研究開発分担者グループが必要不可欠であることの理由、位置づけ等を記載して下さい。

（別紙３）

研究開発費計画

* 費目別の研究開発費計画と研究グループ別の研究開発費計画を年度ごとに記入してください。
* 採択された後の研究開発費は、本事業全体の予算状況、課題評価の状況等に応じ、研究開発期間の途中に見直されることがあります。
* 高額予算の提案課題は、少額予算の提案課題と比較して、より大きな研究開発成果が出ることが期待され、同時により大きな責務を負うこととなりますので、予算設定や体制構築は慎重に検討してください。
* 研究開発チーム編成は、研究開発代表者の研究開発構想を実現するために必要十分で最適な編成を提案してください。共同研究開発グループを置く場合、共同研究開発グループの必要性や共同研究開発グループへの予算配分の適切性等も重要な審査の観点となります。

○費目別の研究開発費計画

* 費目別の研究開発費は、研究開発グループ別の内訳の合算として下さい。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | １年度(R2.10～R3.3) | 2年度(R3.4～R4.3) | 3年度(R4.4～R5.3) | 4年度(R5.4～R6.3) | 5年度(R6.4～R7.3) | 合計(千円) |
| 設備備品費 |  |  |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |  |  |
| 旅費 |  |  |  |  |  |  |
| 人件費・謝金 |  |  |  |  |  |  |
| 外注費 |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |
| 直接経費　計 |  |  |  |  |  |  |
| 間接経費（３０％） |  |  |  |  |  |  |
| 合計(千円) |  |  |  |  |  |  |

〇特記事項

※最適な費目毎の予算額・比率となるようご検討ください。また、人件費が研究開発費総額の50%を超える場合、材料・消耗品費、旅費それぞれが研究開発費総額の30%を超える場合は、その理由を本項に記載して下さい。

〇研究開発グループ別の研究開発費計画

* 研究開発代表者の研究開発構想を実現する上で適切な研究開発費計画であり、研究開発のコストパフォーマンスが考慮されていることや、研究開発分担グループへの予算配分の適切性も重要な選考の観点となります。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | １年度(R2.10～R3.3) | 2年度(R3.4～R4.3) | 3年度(R4.4～R5.3) | 4年度(R5.4～R6.3) | 5年度(R6.4～R7.3) | 合計(千円) |
| 研究開発代表者グループ |  |  |  |  |  |  |
| 研究開発分担者グループ1 |  |  |  |  |  |  |
| 研究開発分担者グループ2 |  |  |  |  |  |  |
| 合計(千円) |  |  |  |  |  |  |

〇設備について

・購入予定の主要設備（1件5,000千円以上、機器名、概算価格）

* 本事業により購入する研究設備・機器について、特に大型で汎用性のあるものについては、所属組織等における研究設備・機器の共用の仕組みの活用を積極的に検討してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 調達時期（年・月） | 品名 | 経費（単位：千円） | 数量 | 用途・設置場所 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

・既に購入済で利用可能な主要設備

|  |  |
| --- | --- |
| 機器名 | 設置場所 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

○研究員等について

・雇用する研究員等の人数

（１） 代表者グループ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 人数 | 所属場所 |
| 研究員 | 名 | *○○大学○○研究科2名、◇◇研究所◇◇センター1名* |
| 技術員 | 名 | *○○大学○○研究科1名* |
| 研究補助員 | 名 | *□□株式会社□□研究所1名* |

（2）分担者グループ1

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 人数 | 所属場所 |
| 研究員 | 名 | *○○大学○○研究科2名、◇◇研究所◇◇センター1名* |
| 技術員 | 名 | *○○大学○○研究科1名* |
| 研究補助員 | 名 | *□□株式会社□□研究所1名* |

（3）分担者グループ2

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 人数 | 所属場所 |
| 研究員 | 名 | *○○大学○○研究科2名、* |
| 技術員 | 名 | *○○大学○○研究科1名* |
| 研究補助員 | 名 | *□□株式会社□□研究所1名* |

○外注費について

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 内容 | 金額（千円） | 実施年度 | 担当（代表者／分担者グループ）と目的 |
|  |  |  | *【代表者グループ】・・・・の解析のために○○○を依頼する。* |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

〇その他

* 既存の研究室以外のスペースを新たに整備し、使用する場合は、その旨を明記して下さい。

（別紙４）

倫理面への配慮

（１）遵守すべき研究に関係する指針等

研究開発の内容に照らし、遵守しなければならない指針等については、該当する指針等の「□」を「■」と記載してください。複数の指針等が該当する場合は、それぞれ「■」を記載してください。

□　再生医療等の安全性の確保等に関する法律

□　人を対象とする医学系研究に関する倫理指針

□　ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針

□　遺伝子治療臨床研究に関する指針

□　動物実験等の実施に関する基本指針

□　その他の指針等（指針等の名称：　　　　　　　　　　　　　　）

（２）本研究開発期間中に予定される臨床研究の有無

臨床研究の予定の有無について該当する方の「□」を「■」と記載してください。

　　　□　有

□　無

※「有」の場合は、予定される内容を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 対象疾患 | 予定される内容、実施時期 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

（３）人権の保護および法令等の遵守への対応

相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、安全保障貿易管理、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。

例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。また、日本国外の研究開発分担者グループが含まれる場合は、研究開発代表者グループおよび国内の研究開発分担者グループの安全保障貿易管理に係る規程の整備状況について、必ず記載ください。

なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

（別紙５）

人材育成や企業導出に向けた取り組み

（１）研究開発期間終了後の研究を継続できる人材育成、及び、グローバル人材の取り込みに繋がる取り組みについて

* 1,000文字以内で記載ください。

（２）企業連携やベンチャー企業等の出口へ向けた活動計画について

* 1,000文字以内で記載ください。

（別紙６）

論文・著書リスト（研究開発代表者）

* 「本提案に関連する主要な文献」、「上記以外の主要な文献」それぞれ10件程度を上限として記入してください。

〇本提案に関連する主要な文献（（様式３）で引用された文献）

* 記載項目は著者（著者は全て記入して下さい。）・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年です。項目順は自由です。
* 様式３の適切な箇所で引用してください。

〇上記以外の主要な文献

* 上記の「本提案に関連する主要な文献」以外で、研究開発代表者が発表された主要なものを中心に記入してください。
* 記載項目は著者（著者は全て記入して下さい。）・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年です。項目順は自由です。

（別紙７）

論文・著書リスト（研究開発分担者）

* 記載項目は著者（著者は全て記入して下さい。）・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年です。項目順は自由です。
* 研究開発分担者が、近年に学術誌等に発表した論文、著書等のうち、今回の提案に関連し重要と思われるものを中心に選んで、現在から順に発表年次を過去に遡って記入してください。
* 研究開発分担者1人につき10件以内で記入してください。

（別紙８）

特許リスト（研究開発代表者・研究開発分担者）

* 記載項目は出願番号・発明者（発明者は全て記入して下さい。）・発明の名称・出願人・出願日です。項目順は自由です。なお、要約をコピーするなどして出願内容の説明も記入してください。
* 権利化の状況、実施・実施許諾の状況も記入してください。
* 今回の提案に関連し重要と思われるものを中心に選んで、現在から順に発表年次を過去に遡って記入してください。
* 研究開発代表者または研究開発分担者1人につき10件を目安に記入してください。（必要があれば10件を超えても構いません。）

○主要特許

・研究開発代表者

・研究開発分担者

（別紙９）

その他特記事項

* 研究開発に際してのご希望、ご事情その他について、A4用紙2ページ以内で自由に記入して下さい。
* 海外の研究機関を研究開発チームに加える場合は、海外の研究機関に所属する共同研究開発者が必要であることの理由をこちらに記載してください。国内の知財確保の観点も含めて記述してください。

・ 特筆すべき受賞歴等がある場合には、必要に応じてこちらに記載してください。